

## 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ようこそ大町温泉郷プロジェクト
事業主体 (連絡先)	大町温泉郷50周年実行委員会 (0261-22-3038)
事業区分	6 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり、イ 農業の振興
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,807,159 円 (うち支援金: 1,355,000 円)

### 事業内容

#### ①森の散策プロジェクト

- ・「あかり」ポイント：投光器によるあかりの演出
- ・看板設置：インバウンド対応の看板製作
- ・提灯さんぽ：各宿に散歩用提灯を配置
- ・ナイトハイク：親子で楽しむ夏のイベント
- ・かんじきハイク：冬の雪原を散歩するイベント
- ・森のベンチ設置：間伐材で作成したベンチを設置
- ・おさんぽMAP：大町温泉郷内をお散歩できるMAP

#### ②oishi プロジェクト

- ・「おいしい水」プレート設置：各部屋の飲み水蛇口付近に、水がおいしいことを説明しているプレートを設置。多言語表記した。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

#### ①森の散策プロジェクト

当初の目的である「まず、自分たちが温泉郷を歩き、お客様目線で考える。」ことから、エリア内を見る習慣が付くようになり、様々な改善点や工夫可能な場所が見えてきた。また、イベントに関しては、天候にも恵まれ、全体的に良好であった。

#### ②oishi プロジェクト

この地域はおいしい水であることを、それぞれの部屋で掲示することにより、年間30万人以上のお客様に伝える活動のスタートを切ることができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回取り組んできた事業を機に、大町温泉郷の景観美化をエリア内で共有化できるよう、青年部を中心に進めていきたい。また、oishi プロジェクトに関しては、共通PRできる食材を活用したロゴを5種類製作し、PRを始めているが、今後さらに種類が増える様研究し、大町温泉郷が発信できる体制を整えていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【打合せの様子】

### 【目標・ねらい】

- ①大町温泉郷の「森」魅力発信
- ②地元の「おいしい」を発信
- ③宿同士の相互連携

### ※自己評価【B】

【理由】記念すべき50周年は本事業以外にも記念イベントを数多く行い、好評いただくことができた。しかしながら、事業が多く体力的に厳しい所もあったことから、組織内の底上げも必要だということを実感した。